

活動成果報告書

令和6年度（第28回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

お子さん連れ安心！子宮頸がん検診2024

グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名)

北上市 健康こども部 健康づくり課 健康係

代表者：木地谷 祐子

勤務先：北上市役所

所 属：健康こども部 健康づくり課

所在地：〒024-0092

岩手県北上市新穀町1-4-1

TEL：0197-72-8296

FAX：0197-65-3834



本活動は、「小さいお子さんがいて、子宮頸がん検診受診を諦めているお母さんがいるのでは？」という女性職員の指摘から、保健師チームが自由な発想で解決を図り実現方法を見出した取り組みです。本報告では、乳幼児のいるお母さんを対象に報告していますが、それ以外の理由を持った市民向けにも有効な手段と考え、ここに紹介させていただきます。

◇活動方針

前年度に引き続き、乳幼児がいて検診受診を諦めているお母さんに対象を絞った子宮頸がん検診の実施に取り組むにあたって、「乳幼児連れで“待たず”に“無駄なく”済む子宮頸がん検診の実現」を活動方針としました。

活動を開始するにあたって、市民目線で検討するために「お子さん連れ安心！子宮頸がん検診2024」という合言葉で、昨年携わった職員を含めた保健師チームが昨年の企画内容をゼロベースで見直しました。

◇活動内容とその成果

方針に基づき、次の活動を実施しました。なお、年央での検討であったことから、既に計画されている一般向け検診会場で同時開催する形態での実施を前提に検討しました。

1. 実施方法の検討

長時間の滞在が難しいお母さんへの対策として、主に次の2点を検討しました。

① 居場所の確保

お子さん連れでもストレスなく待つことが出来るよう、また、お母さんが検診車に乗っている間お子さんがストレスなく待つことが出来るよう、本やおもちゃを配置した専用待合室を一般受診者とは別に確保しました。

活動成果報告書

② 滞在時間を短くする

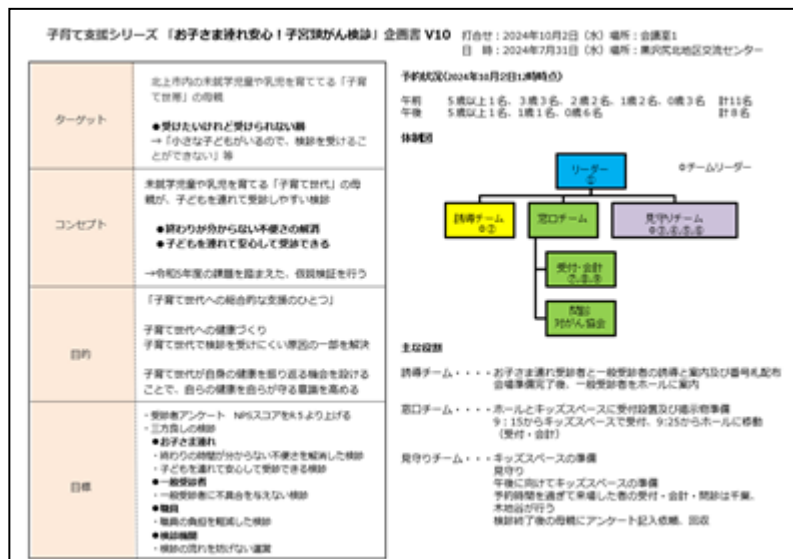
検討に際し、庁内のDXリーダーから「15分あたり8人程度」の検診ペース（スループット）に合わせ、受付時間や予約人数を設定するよう指摘を受け、一般受診者の受付開始15分前に対象となるお母さん専用受付を開始する子育て応援予約枠を設定しました。なお、①に関連して受付担当者は、対象のお母さんの受付終了後に一般受診者の受付に移動することが可能となり、担当職員の重複が防げるようになります。

この企画に合わせて、今後も改善が続けられるように、検討した内容を体制図、会場配置図、ガントチャートの3点セットに整理し、事前の打合せで職員間の情報共有に利用しました。

3. 実施と結果分析

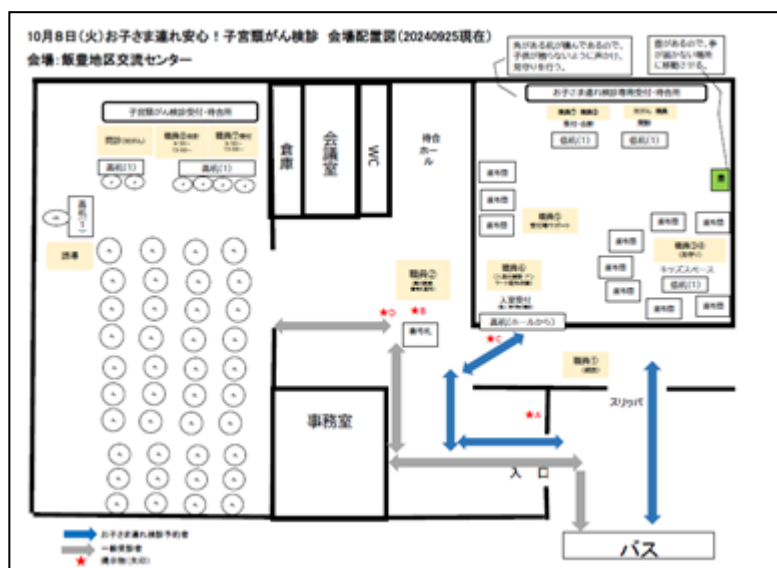
実施当日は、前述の3点セットで目的やオペレーションを確認し、実施しました。

① 体制図



指示系統を可視化するために体制図を作成し、各担当者の役割を明確にしました。

② 会場配置図



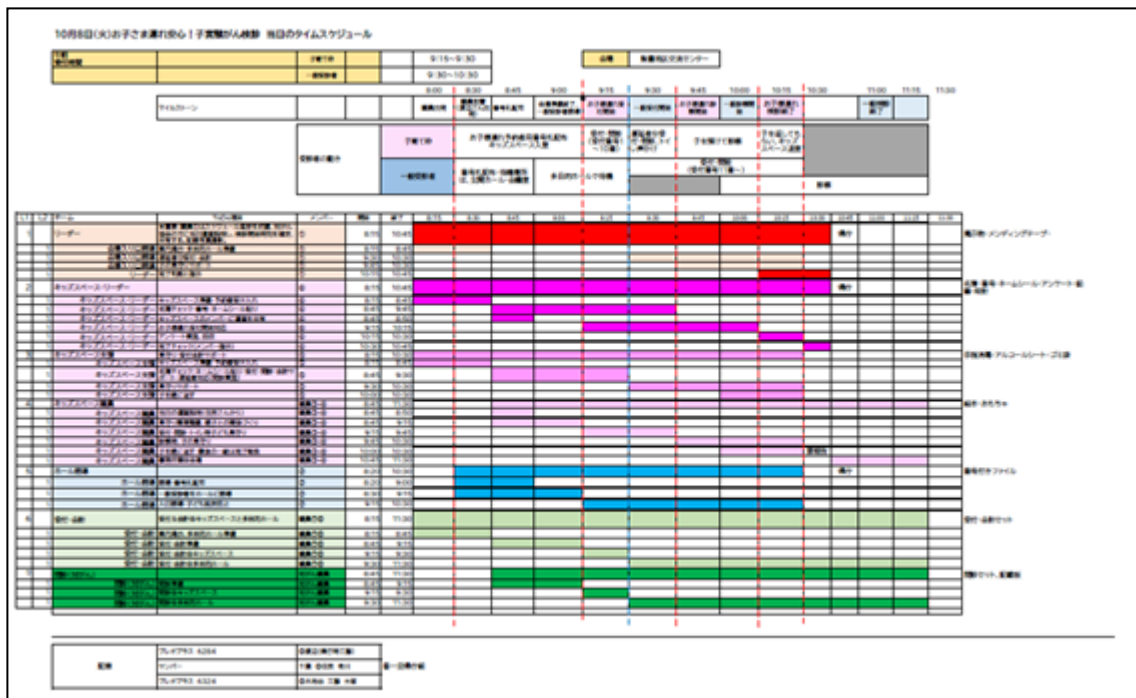
当日朝に合流するスタッフも受診者の動線を速やかに理解できるよう、会場配置図を作成しました。

また、掲示物や物品の配置場所を可視化したことで、会場到着後15分程度で準備を完了することが出来ました。

活動成果報告書

③ ガントチャート

誰がどのタスクを担当しているか色づけし整理することで、準備段階で運営体制に抜けがないか確認することが出来ました。



◇活動成果

“待たずに無駄のない” 検診方法として、今回の実施方法が有効であることが実証できました。

① 待たない検診の実現

参加 8 人は、受付から検診終了までを約 20～40 分で済ませることが出来ました。（昨年は最長 90 分）。

② 無駄のない検診の実現

受診者にとって検診で拘束される時間が劇的に短縮されました。その体験に対して事後アンケートで調べた満足度は、NPS®スコア（ネット・プロモーター・スコア）93 と非常に高い値となりました。よって、本活動の方針と挙げていた“待たずに無駄のない検診”を実現出来たと考えます。

さらに、今回の特筆すべき成果として、一般検診受診者と混在でも成り立つ手法を確立したことが挙げられます。子育て世代応援予約枠の設定、番号札を配布し一般予約者との導線をコントロール等の、持続可能な検診運営のコツを得ることができました。

◇今後の計画

本取組の最大の価値は、私たちのチームが、市民目線で新しいチャレンジに取り組み、成果を上げた経験から、「普段の業務に疑問を持ち、より良い市民サービスを検討し続ける」という意識と行動の変化だと考えます。この新たな常識のもと、今後も健診や検診に関して、地区の特性に合わせて対策を打つなど、変革を拡大させていく予定です。